

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 甲州市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和7年5月20日、甲州市歴史的風致維持向上計画協議会を開催し、令和6年度事業進捗評価について意見集約を行った。	
(コメントの概要) <進捗評価シート> P.5 評価軸③-3歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項「史跡勝沼氏館跡保存整備事業」 (委員コメント) ▶保存活用計画策定準備委員会を設立したが、活用面で具体的な案があるか？ (事務局コメント) ▶看板等の経年劣化や史跡整備も課題であるが、勝沼氏館跡だけでなく、その周辺環境との連携も課題のひとつになっている。令和7年度から2ヵ年かけて保存活用計画策定事業を実施し、活用面について検討を進めていく。 P.12評価軸④-3文化財の保存又は活用に関する事項「文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画」 (委員コメント) ▶昨年度開催した「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群文化的景観」の基調講演・パネルディスカッションをきっかけに、地域住民の中からより地域の歴史や歴史を知ろうとする活動が生まれている。民間と行政が連携した取り組みができると良い。 ▶行政と民間でそれぞれに取り組みを進めるのではなく、互いに連携しながら取り組んでいきたいので、情報共有を願いたい。 <計画全体> (委員コメント) ▶保存や修繕、観光等多岐にわたって取り組みを進めているが、市としてはどの点に力を入れているのか？ (事務局コメント) ▶ハード事業として特に主だった取り組みは、既に事業完了しているが、重要文化財旧高野家住宅美装化事業、於曽屋敷環境整備事業等である。また、計画内には記載がないが、令和5年度に近代産業遺産である「JR中央本線旧大日影トンネル(大日影トンネル遊歩道)」について、クラウドファンディング等寄付を募り改修工事を実施し、再開通することができた。 ▶当該計画は、文化財を保存するだけでなく、文化財を活用したまちづくりや産業に繋げるような取り組みを実施している計画であるため、特定の分野に特化したものではない。様々な分野の取り組みを融合させることで歴史的風致の維持向上に努めている。	